

Bo dai 菩提だより

No. 0005.

03.6.14(土)

発行人: 桐田探人 松岡賢二

神奈川県
Tel/Fax
E-mail:



お元気ですか!

丹沢山地は梅雨空におおわれ、雲に煙っています。
秦野菩提のmyはたけの「戦か子たち」は、不揃いの成長
ながら、けなげにも花を咲かせています。
今号は花特集とし、5/28~6/4の桐田方夜を付録とします。



なす



かぼち



とまと



きゅうり

お友だちへのメールから.....

弘月君 期待のピーマン

遙か遠く、菩提のmyはたけからの、メール0008号、
今、非常に充実している。限りなく至福のなかにある。それと
言うのも、菩提からのお父さまの心を伝えて、菩提のmyはたけの
心を届けて、もう2カ月になるのだ。

5月18日、芝川町の田植え、結局曜日を間違えて参加できず、
限りなく時間と距離の無駄をして、myはたけのこまつ菜を間引き
して、炒めて乾杯、こまつ菜の種まき、ついでに大根も。もう

ベテランばい!! 種まきでも、ふるい砂混じりでやるんだ。これっ
て、となりのおじさんに教わったすぐれ技なのだ。

5月22日、じゃがいもに石灰液をかけ、草木灰をまぶす。これ
でパッチリだろ?? かぼちやをみると、ばんばん伸びている。こ
こで摘芯、これがむずかしい。

5月24日、20日に蒔いたこまつ菜、大根が芽を出している。
嬉しさのあまり、芽を撫でながらふるい砂をかけて土寄せ。

こう見ると、2日おきに我が子たちに会いに行き、手をか
けているのだ。あまり「えさ」つまり化学肥料をやらす、農業をつ
かわず、手をかえ、品をかえ、だまし騙し育てているのだ。

5月26日、また出掛け。そして5月の最期の逢瀬の日。28
日からの棚田旅を考えると、時々雨が降り、大きな手で覆いながら
この子たちの成長を見守って欲しい。
そう願いつつ、myはたけを思いずりまわり、草とりの合間にわ
が子たちに話しかけている。

こうして、2カ月が過ぎる。よくやったと思う。
25種、いろいろあっても、育てている。ふてくされもせず、
お父さんの期待に答えてくれそうだ。本当にいい子たちだ。

さて、28日からの棚田旅、予定通り行ってくる。綾子ちゃんと
離れることも、わが子たちと離れることも、同じように寂しいが、
もう棚田モードに入ってしまった。赤いちゃんちゃんこにくるまって
棚田、棚田の三度笠でござんす、にっこり笑って見送ってください
な、、、綾子ちゃん!!

じゃ、ごめんすって、、、、、、 お父さん

遙か遠く、菩提からのメール0010号、
忙しく仕事をされている、君たちの、すこしでもの気休めとして
菩提からのいい空気を送る。

6月10日、3rd研修日。9:30から1、5Hの夏野菜栽培
についての座学。これは、何をいまごろの感もあるが、4月からの
復習の意味では勉強になる。

あと、畑に出て、それぞれの作物について、いい、わるいも含め
ての青空教室、この方法はいいことだ。その畑の農人(のらびと)
は恐縮しているが、参考になる。
もっとも、お父さんのmyはたけに来なかったのがよかった!!

この日、20日大根、小かぶ、きゅうり、なす、ピーマンのちい
さいやつを収穫、さっそく食べた。
うまい、じつにうまい。

また、報告する。 お父さん



試し穫り?

5th 棚田巡りの一の旅

: 故郷 熊本での中学校を卒業して
 ちゃんちゃんに同窓会に、この
 棚田旅と合わせ、予定では
 22ヶ所、33棚田の旅だった。



熊本 矢野川に置かれた橋で夏がけの田んぼ



熊本 産良村、扇棚田。



....しかし、帰路の中で体調とく
 し、止むなく中断。
 それでも7泊8日の中で3750kmを
 走り、予定の半分以上を回った。
 このページは、そのほんの一部に
 すぎないが、少しでも棚田の雰
 囲気を感じてもらえるだろうか...?



喜望峯、高千穂町、徳引田



和歌山、清水町、あざき田



熊本、菊鹿町、番所棚田。



三重、紀和町、丸山の干枚田。